

『Mind Charging』

第 123 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 29 日

国枝慎吾の名言



パラリンピックで金メダルを獲っているという経験は、何事にも変えられないと思うんです。たとえ調子が悪くても、勢いある奴がいたとしても、ディフェンディングチャンピオンというだけで相手にとっては脅威になると思いますから。

非常に強いメンタルを持ったアスリートであり、人物だと思います。彼の言葉は他にも多数取り上げられていますが、相手や彼と同じ障害者アスリートなど『自分以外』に非常に気配りを感じる言葉が多いです。是非調べてみてください。

どんな世界でも“勝ち続ける”ということは非常に難しいことです。誰もが勝者になりたくて挑戦をしていますから、勝てば勝つほどライバルが増え、自分の持っている力はすぐに研究されていきます。それでも年間グランドスラムを 5 回も達成した国枝選手の強さは簡単な言葉では言い表せない、まさに『神の領域』と言えるレベルだと思います。

この言葉を知った時に、アスリートが大会後のインタビューなどで『自分との戦い』というような言葉をよく使うことを思い出しました。そして、この言葉は『自分vs自分』でも同じだと感じました。自分が生きていく中で、その時の自分のメンタル(気分)の好不調に関わらず、様々なライバル(問題・悩み)が出現します。そんな時に、過去の自分の中で『あの時あれだけのことができたんだから！』と思えるものがあれば、きっとそれが自分にとっての“強み”になるはずです。正智深谷でみなさんの今後の人生の糧となるような大きな『成功体験』を是非味わってほしいと思います。(編集委員：入試広報室 鈴木)

国枝 慎吾(くにえだ しんご、1984 年 2 月 21 日 -)は日本の男性プロ車いすテニス選手。ユニクロ所属。グランドスラム車いす部門で、男子世界歴代最多となる計 43 回(シングルス 23 回・ダブルス 20 回)優勝の記録保持者。年間最終世界ランキングでは 1 位を 8 回記録している。シングルスでは年間グランドスラム(3 冠)を計 5 回達成し、ダブルスではキャリアグランドスラムと 4 大会連続優勝を果たしている。パラリンピックではシングルスで 2 個・ダブルスで 1 個の金メダルを獲得している。(Wikipedia 参照)